

令和2年度 第3回松山地域協議会

日 時 令和3年3月1日(月) 午後1時30分～3時20分

場 所 松山農村環境改善センター 大ホール

出席委員 11名

齋藤 明、齋藤 吉男、阿部 喜久子、後藤 吉史、
富樫 とも子、荘 司 東一、佐藤 玲子、齋藤 薫、
小田 和夫、平向 邦夫、松本 允夫

欠席委員 4名

佐藤 徳康、樋坂 仁、佐藤 均、本間 京子

酒田市出席者

まちづくり推進課長補佐	松 永 隆
地域づくり係主事	小 山 薫
地域づくり係主事	讃 岐 祐 香
松山総合支所長兼地域振興課長	柿 崎 弘 志
建設産業課長	出 嶋 亨
地域振興課長補佐	堀 浩 幸
地域振興課地域振興主査	齋 藤 圭
地域振興課地域振興係長	阿 彦 求
建設産業課長補佐兼建設係長	石 川 亮 一

傍聴者 0名

議事日程

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名人の指名
- 4 議 事

【協議事項】

- (1) 新たな過疎計画の策定について(小グループに分かれての意見交換)

①松山地域の「資源＝強み」と「課題＝弱み」について

②松山地域に必要な施策について

③松山地域の将来像（ありたい姿）について

(2) 意見交換のまとめ

5 その他

6 閉 会

1 開 会

(柿崎支所長)

○地域協議会開会宣言

○欠席者の確認 佐藤 徳康 委員、樋坂 仁 委員、佐藤 均 委員、本間 京子 委員

2 会長あいさつ

○新過疎計画策定に伴い、地域の懇談会を開催することとなった。松山地域全体を網羅する過疎計画となるので、来年度には県経由で総務省に提出となる。

○委員の皆さまからは、新過疎計画をどのようにまとめ上げたら良いか提言をいただきたい。

3 議事録署人の指名

○本協議会の議事録署名人 荘司 東一 委員

4 議 事

(柿崎支所長)

議事に入りますが、今回の協議会はワーキング形式となっているため、ここからの議事進行は、まちづくり推進課の松永補佐にお願いします。

～ここから松永補佐進行～

(松永補佐)

(1) 新たな過疎計画の策定について（小グループに分かれての意見交換）

- ・いつもの協議会とは違うため少し戸惑いもあるかも知れないが、ざっくばらんにご意見をお聞かせ願いたい。市の職員も「聞き役と書記」として参加させていただきます。
- ・協議会委員の皆さまの意見、ワークショップでの地域住民の考え、自治会長アンケートの結果などを踏まえ、役所で過疎計画の原案を作成し9月ごろの地域協議会に原案をお示ししたい。

～話し合いの進め方と資料の説明を行う～

(松永補佐)

はじめに、①松山地域の「資源＝強み」と「課題＝弱み」について、委員の皆さまから自由に話し合っていたきたい。

《3班に分かれて「資源＝強み」と「課題＝弱み」について話し合う》

○1班

- ・資源（強み）／豊かな自然（眺海の森から最上川、庄内平野、鳥海山、出羽丘陵、春の田んぼに映る夕日）。自然景観の距離感が良い。民族文化（武者行列、鉄砲隊、神楽、能）がある。
- ・課題（弱み）／人口減少、少子高齢化、高齢化は良い悪いではない。公共交通（電車、バス）が良くない。除雪が大変（特に女性）。就労環境がダメ。

○2班

- ・資源（強み）／自然が多い。子育てがしやすい。持続可能な居住空間。眺海の森からの眺め。体育施設が充実。伝統文化が各地にある。
- ・課題（弱み）／子供が少ない→公園等整備がされていない。→流入人口が少ない。働く場がない。交通が不便。農産物が少ない。

○3班

- ・資源（強み）／自然、景観、眺海の森、草木塔、松山能、總光寺、神楽、絵馬、竹田の神社古い、地見興屋の神社900年、中北目神楽、松山の宝事業、阿部次郎、記念館、五月雨塚、外山キャンプ場。
- ・課題（弱み）／文化の発表の場がない（継承できない、伝えていく人が少ない、ビデオ化）。若い人の考え方→協力が無い。子供がいない→子供会が成り立たない。仕事がない。などのキーワードが出た。

(松永補佐)

一つ目のお題で松山の資源、課題を出していただきましたが、今度は、②松山地域に必要な施策について、松山の資源を伸ばすためにどのような事業があるのか、課題を解決するにはこのような事業に取り組むべきだということ意識しながら、今後10年ぐらいをかけて松山地域に必要な事業について出し合っていたきたい。

《3班に分かれて今後10年で必要な事業について話し合う》

○1班

- ・必要な施策（ハード）／シェア住宅・集合住宅の整備。オーナー制コテージ（期限付き）。眺海の森の市有地を別荘地にしては（松山に似ている、羽黒桜ヶ丘地区に別荘がいっぱいある）。旧松中の桜がきれい→手入れが出来ないか→敷地に入れない。眺海の森さんさんの活用（ア

ウトドア、キャンプ用品の貸出し)。山が荒れている→山は財産。空き家の売買促進、活用。移動販売車。阿部次郎の「哲学の道」看板整備。

- ・(ソフト) / マスコミの活用。ポツンと一軒家が人気(自然に関わることが見直されている)。阿部次郎の「哲学の道」ルートづくり。眺海の森の散策ルートづくり→PR。お菓子、和菓子の発信。

○2班

- ・必要な施策(ハード) / 有料老人ホーム(自立できる方の住居→畑仕事ができる等)。屋内運動場の整備。外山キャンプ場をオートキャンプ場に再整備。レンタルハウスをオーナー制。
- ・(ソフト) / 農業の担い手育成。自然の利活用をPR。移動販売車。伝統文化を発信する。「地域の先生」制度。新規事業(起業・開業)への支援→チャレンジショップ。

○3班

- ・必要な施策(ハード) / 交通面整備。空き家対策(土地を含む)→更地化。改善センターの整備。シェアハウス、集合住宅。ケア付き住宅。
- ・(ソフト) 子どもが自然から学ぶ機会をつくる。地域が教育に関わっていく。地域のリーダーを育成する。人が集まる環境づくり、子供が安全に遊べる空間づくり。神楽等の発信の場をつくる。武家文化を守る環境づくり。眺海の森さんさんをオープンさせる。「そば」をうまく活用する。区割り(地区、自治会)を見直していく。
などのキーワードが出た。

(松永補佐)

ここからは、一人ひとりが思い描く③松山地域の将来像(ありたい姿)について、こんな地域になってほしい等をA4用紙に書き出していきたい。

《一人ひとりが思い描く松山地域の将来像(ありたい姿)の書き出し》

○書き出された松山地域の将来像(ありたい姿)

- ・若い人が定着し、活気のある町(近くに働く場がある)。自然エネルギーを活用した環境にやさしい地域。
- ・バランスの取れた人口構成の中でゆったり心豊かに過ごせる。居住空間、子育て空間としての地域でありたい。集中と選択、そのための地域のコンセンサスづくり。
- ・酒田市の奥座敷として凜として存在している。個人的な人が「ここに住みたい」と言ってくれる場所。
- ・地域資源「歴史的・民族的資源、医療・福祉、松山らしさを活かす」(松山方式)。人口が少ない地域だからこそ出来るモデルは何だろう。デジタルとリアルのバランス。
- ・城下町を活かした町並み→武家屋敷風。町の中に花が咲いている町並み。

- ・集落内4～5軒（隣組）で月1回程度食事会を楽しむ。
 - ・子供たちがワイワイ遊べて楽しい場所に集まってくる。多くのことが体験できる地域。若い人が働くことができる地域。一人暮らしになっても安心できる地域。
 - ・新たな人を呼び込む地域。
 - ・健康な暮らしを維持できる地域。老若男女が暮らしやすい状態になっている。
 - ・地域の交流を継承し、協力し合える地域。自然に富み、活用し心豊かな生活にする。
 - ・子ども、親、老人、合同のサロン。
 - ・子ども食堂のような場所があれば良いと思う。学童保育のさらなる充実。空き家を地域の茶の間の建物として活用（新潟県参考）
 - ・日本文化を感じられる。文化継承できている。継承できる人材が育成できている街。
 - ・職場、事業所等を増やす、拡大。流出防止。活躍の場。松岡㈱拡大、新規開設→リーダー出現。
 - ・助け合いの地域。松山の歴史、文化を大切にできる地域。4コミセンが活気づいてほしい。
- など、委員が思い描く将来像（ありたい姿）を書き出した。

（松永補佐）

（2）意見交換のまとめとして、皆さまから書き出していただいたご意見を共有したいと思いますので、机の上に広げてください。席から移動して他のグループの意見を見ていただきたいと思います。

（松永補佐）

活発なご協議をいただき、ありがとうございました。

今回、委員の皆さまからいただいたご意見と、また、地域住民ワークショップ、自治会長アンケートを実施していますので、それを参考にしながら過疎計画の原案を作成する。新年度の9～10月ごろに協議会の委員の皆さまに原案をお示し、ご意見をいただくこととなる。それをさらに修正し12月議会に提案するスケジュールで進める。

～ここから柿崎支所長進行～

（柿崎支所長）

活発な議論ありがとうございました。

（小田会長）

大変ご苦労様でした。地域協議会の内容を市長に報告しなければなりません。市長報告会ではインパクトのある提言を行いたい。

（堀補佐）

会長から市長報告会についてありましたが、3月26日に開催されます。内容については、

会長、副会長に一任いただきたい。今年度開催された3回の協議会の内容をまとめて、会長、副会長から承認をいただき報告会に提出する。

(柿崎支所長)

過疎計画づくりは、来年度いっぱい続くこととなりますので、来年度の委員になられる方、また新しくなられる方も含めて、活発な議論をお願いしたい。

5 その他

(柿崎支所長)

その他は特になし。

6 閉 会

(柿崎支所長)

それでは、これをもちまして第3回松山地域協議会を終了いたします。委員の皆さま方には円滑な議事進行にご協力を賜りありがとうございました。